

積算資料7月号(6月20日発売)

積算資料速報レポート 主要資材の価格動向

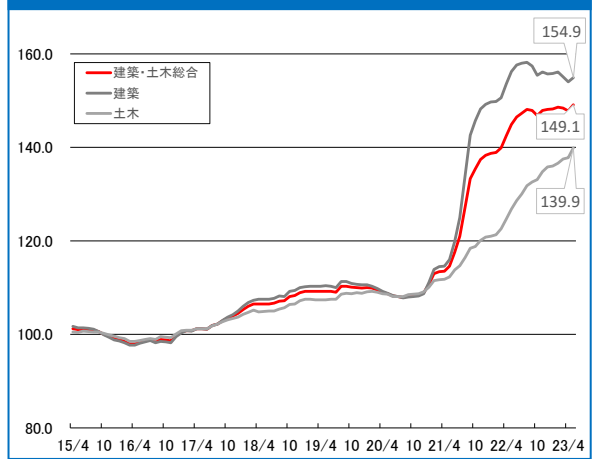
建設資材価格指数が3カ月振りに上昇し過去最高値を更新 ～生コンの騰勢強まる～

1. 建設資材価格指数の推移 : <https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/index.html>

積算資料7月号掲載予定の建設資材価格指数(全国・5月調査に基づき算出)は、建築・土木総合で149.1となり3カ月振りに上昇に転じた。上昇幅は前月比プラス1.3ポイント。前月比が1ポイントを超えるのは昨年11月調査以来で、上昇幅としても高い伸びを示した。その結果、総合指数は今年2月調査時の148.6を0.5ポイント上回り、過去最高値を更新した。建築用木材等が軟調に推移しているものの、2023年度入り後、セメントや生コンの騰勢が強まっており、これが指数の上昇圧力となっている。

最新の6月調査でも、セメントや生コンの上昇は全国的に続いており、東京地区ではセメントが2カ月連続の続伸。生コンも全国47県庁所在地のうち9府県で上昇となっている。また、続落していた型枠用合板は東京地区で5カ月振りに下げ止まり、軟調だった市況感に変化の兆しが見られる。そのため、総合指数は特に土木指数の上昇により、今後も右肩上がりの推移となる可能性が高い。

建設資材価格指数(全国・2015年度平均=100)

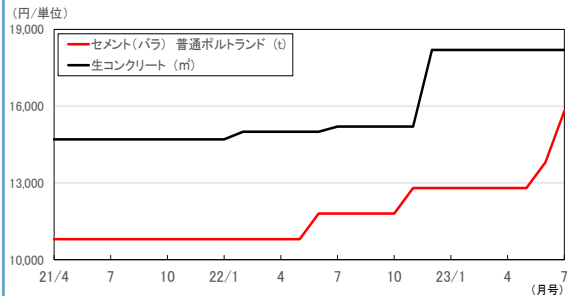


2. 速報 積算資料7月号(6月調査) 主要資材の価格動向(東京地区)

品名/規格	単位	価格(円)	前月比(変動率)	先行き
異形棒鋼 SD295・D16②	t	118,000	0円 (±0%)	➡
H形鋼 200×100×5.5×8mm SS400②	t	123,000	0円 (±0%)	➡
鉄スクラップ H2	t	40,000	0円 (±0%)	➡
セメント 普通ポルトランド(バラ)	t	15,800	+2,000円 (+14.5%)	➡
生コンクリート 21-18-20 東京17区	m ³	18,200	0円 (±0%)	➡
再生クラッシュラン 40~0mm・東京17区	m ³	1,200	0円 (±0%)	➡
コンクリート型枠用合板 無塗装品5ツ 12×900×1800mm	枚	1,950	0円 (±0%)	➡
杉正角材(KD) 3.0m×10.5×10.5cm 特1等	m ³	85,000	-1,000円 (-1.16%)	➡
軽油 ローリー渡し	kℓ	119,500	+3,500円 (+3.02%)	➡
ガソリン スタンド渡し レギュラー	ℓ	149	+1円 (+0.68%)	➡
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	t	9,800	0円 (±0%)	➡
ビル用アルミサッシ 引違い窓 70mm 1400×1200mm	窓	16,100	0円 (±0%)	➡
板ガラス(フロート板ガラス) FL5 5mm 2.18m ² 以下 特寸	m ²	2,300	0円 (±0%)	➡
CVケーブル 600V 3心 38mm ²	m	1,746	-78円 (-4.28%)	➡
硬質ポリ塩化ビニル管 一般管(VP) 呼び径50mm	本	1,640	0円 (±0%)	➡

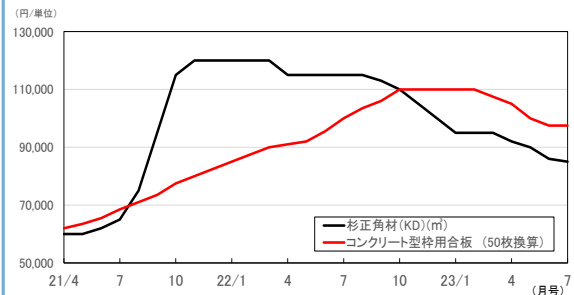
セメント・生コンクリート

セメント続伸、メーカーによる値上げが満額浸透



杉正角材・コンクリート型枠用合板

合板は5カ月振りに横ばい、木材は実需乏しく1,000円続落



CVケーブル

主原料の銅相場軟化を背景に一段安

